平成 30 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

様式 3

●施設の概要

施設名	岐阜市文化会館(岐阜市民会館)	所管課	市民参画部 文化芸術課
所在地	岐阜市美江寺町2丁目6番地		
指定管理者名	一般財団法人 岐阜市公共ホール管理財団		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日(5年間)		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	334,402,000円(平成30年度、岐阜市文化センターと合算)		
施設の設置目的	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図るため。		
施設概要	ホール1、展示ギャラリー1、会議室2、多目的ルーム2、練習スタジオ1、和室1		

●利用状況

	H30 下半期	H30 上半期	H29 下半期	H29 上半期	H28 下半期	
利用者数(単位:人)	63,539	58,588	78,626	66,950	58,121	
各室稼働状況(%)	大ホール	62.4%	36.9%	61.3%	37.2%	64.4%
	展示ギャラリー	41.1%	27.4%	35.1%	29.7%	33.9%
	会議室80	30.4%	37.7%	45.2%	34.3%	42.9%
	会議室48	54.2%	60.6%	70.8%	73.1%	66.7%
	多目的ルームA	47.0%	50.3%	53.6%	45.1%	47.0%
	多目的ルームB	53.6%	38.3%	39.9%	41.1%	26.2%
	練習スタジオ	68.5%	70.9%	68.5%	53.1%	55.4%
和室	42.3%	40.6%	44.0%	36.0%	21.4%	

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適正に運営されている。 ②職員10人を配置し、業務を適切に遂行している。 ③年間の広報計画に基づき、広報ぎふや、フリーペーパー、さらに有料広告を活用し、積極的な広報活動を実施している。 ④指定管理者が定めた受付マニュアルに基づき、適切に対応している。
自主事業・提案事業	下記自主事業の実施 ①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ②子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓)&出前講座 ③第40回ぎふアジア映画祭 ④市民スタッフ事業 ⑤市民プロデュース公演応援プロジェクト(公募) ⑥ぎふ演劇ワークショップ ⑦岐阜市中学校美術作品展2018 ⑧「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業 ⑨戯曲セミナー&リーディング発表会 ⑩ザ・グレン・ミラーオーケストラ ⑪市民スタッフ育成事業	①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ・1月20日(日) 第11回ぎふジャズフェスティバル実施 974人 ②子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓)&出前講座 ・11月13日(火) 能楽出前講座 岐阜小学校 51人 ③第40回ぎふアジア映画祭 ・9月15日(土)～11月25日(日) 2,147人 ④市民スタッフ事業 ・12月9日(日) 文化センター寄席「しゃべれどもしゃべれども」映画上映&昔昔亭A太郎独演会 404人 ⑤市民プロデュース公演応援プロジェクト(公募) ・10月8日(月)第24回採択事業 創作オペラ「ふるさとの昔話」と日本の歌・箏曲 676人 ・1月31日(木) 第25回審査会実施 ⑥ぎふ演劇ワークショップ ・2月16日(土)～17日(日) 一般の部 33人 ・3月16日(土)～17日(日) 中学生の部 255人 ⑦岐阜市中学校美術作品展2018 ・毎月市内中学校2校の展示 ⑧「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業 ・10月4日(木) 早田小学校出前コンサート実施 429人 ・11月3日(土) 芥見小学校出前コンサート実施 278人 ・11月11日(日) ザ・グレン・ミラーオーケストラ オープニングアクト ・12月8日(土) 柳ヶ瀬ストリートライブ 300人 ・12月22日(土) クリスマス・ジャズ講座 402人 ⑨戯曲セミナー&リーディング発表会 ・2月2日(土) 優秀短編発表会 140人 ⑩ザ・グレン・ミラーオーケストラ ・11月11日(日) 1,438人 ⑪市民スタッフ育成事業 ・10月30日(火) 劇場フロントスタッフ研修 ・2月25日(月)出張研修 不二羽島文化センター
施設管理	①清掃業務 ②守衛業務 ③受付業務 ④建築物環境衛生管理業務 ⑤エレベーター設備保守点検 ⑥各種点検業務	毎日の日報及び実地調査にて履行状況を確認 ①清掃業務 ・日常清掃(開館前清掃、施設使用後の清掃)について計画通り実施 ・定期清掃(ワックスかけ、ガラス清掃、絨毯清掃)について計画通り実施 ②守衛業務 ・定期巡回(午前5時、午後7時、午後11時)、鍵・扉の開錠業務、照明の点消灯業務、駐車場の管理業務について計画通り実施 ③受付業務 ・毎日午前8時～午後8時までの受付、案内、接遇、電話対応、簡易な事務補助、OA機器操作補助、催し物掲示板整理業務について計画通り実施 ④建築物環境衛生管理業務 ・貯水槽の清掃、水質検査業務、汚水槽・排水槽の点検清掃業務、病害虫等調査・防除業務について計画通り実施 ⑤エレベーター設備保守点検 ・月1回の点検を実施 ⑥各種点検業務 ・実施計画に基づき、順次実施
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	経年劣化等による故障を受け、速やかに修繕を実施した。 ・ホール椅子修繕 ・大ホール天井修繕 ・舞台照明用UPS修繕 利用者の利便性向上に繋がる修繕を実施した。 ・練習スタジオほか照明修繕 ・車椅子タイヤ修繕 ・2階多目的トイレ修繕(ベビーシート設置)
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市個人情報保護条例及び同施行規則並びに財団規程に基づき、適正に管理運営を行っている。 ②独自の危機管理マニュアルにより、地震や火災、風水害、事故・事件等について、定期的な訓練等を実施し、来館者の安全を守る意識を高めている。また、主催者との打ち合わせで災害弱者の有無を事前に把握し、有事の際に適切な対応ができるよう努めている。 ③当施設の条例及び施行規則や関係法令を遵守し、適正に運営されている。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>・1月15日～3月15日の期間を設け、施設利用者(団体)48団体に「ご利用者カード」の記入を呼びかけ、42団体から回答をいただいた。また、今年度より大ホール利用者(団体)に向けて、通年で「ご利用者カード」の記入を呼びかけた。アンケート質問項目は、「使用会場」「職員の対応」「敏速な対応」「的確な対応」「館内清掃」「備品満足度」「今後も利用したいか」「他施設の候補を考えたか」「利用の決め手」「当施設を以前から知っていたか」「情報媒体」。</p> <p>・常時「ご意見箱」とその記入用紙を館内(東棟1階のロビー)に設置。</p> <p>・「ご意見受付シート」により、来館者、利用者の意見・要望を把握するよう努めている。</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○ご利用者カード集計結果(1月15日～3月15日実施)</p> <p>回収総数 42枚(回収率88%)</p> <p>「使用会場」大ホール 2.4%、展示ギャラリー 7.1%、会議室80 11.9%、会議室48 35.7%、多目的ルームA 11.9%、多目的ルームB 9.5%、和室 7.1%、練習スタジオ 14.3%</p> <p>「職員の対応」非常に良い 83.3%、良い 12.0%、普通 4.8%、悪い 0%、非常に悪い 0% 無記入 0%</p> <p>「敏速な対応」非常に良い 81.0%、良い 14.3%、普通 2.4%、悪い 2.4%、非常に悪い 0% 無記入 0%</p> <p>「的確な対応」非常に良い 73.8%、良い 21.4%、普通 4.8%、悪い 0%、非常に悪い 0% 無記入 0%</p> <p>「館内清掃」非常に良い 69.0%、良い 26.2%、普通 4.8%、悪い 0%、非常に悪い 0% 無記入 0%</p> <p>「備品満足度」非常に良い 57.1%、良い 35.7%、普通 7.1%、悪い 0%、非常に悪い 0% 無記入 0%</p> <p>「今後も利用したいか」思う 90.5%、思わない 2.4% 無記入 7.1%</p> <p>「他施設の候補を考えたか」考えなかった 57.1%、考えた 33.3%(他施設…ドリームシアター、ワークプラザ、じゅうろくプラザ、メディアコスモス、岐阜市文化センター、ハートフルスクエアG、コマダ、中央青少年会館、競輪場) 無記入 9.5%</p> <p>「利用の決め手」①使用料金 20.2% ②附属設備 4.8% ③収容人数 14.3% ④交通の便・駐車場 22.6% ⑤利用時間 6.0% ⑥職員の対応 4.8% ⑦知人の紹介 2.4% ⑧岐阜市の施設である 9.5% ⑨利用目的に合う 15.5% ⑩その他 0.0%</p> <p>「当施設を以前から知っていたか」はい 76.2%、いいえ 21.4% 無記入 2.4%</p> <p>「情報媒体」広報ぎふ・新聞・雑誌等の記事 0%、HP・インターネット 55.6%、知人の紹介・口コミ 44.4%、利用相談会・見学会・営業活動 0%、その他 0%</p> <p>(主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房が始めのうち効きが悪くて寒い。温まるまで時間がかかる。床が冷たい。 ・いつもありがとうございます。職員の方にはいつもとてもいい気持ちで気持ち良い対応していただきありがとうございます。 ・料金を少し下げてください。継続して使用する団体には割引をお願いします。 ・いつも同じことを書いているような気がしますが、どうしても気になるのは入口から中段の階段までの石畳のような床。入口に一部カーペットが敷かれていますが、できれば人が出入りする、よく動かれる部分の床には全面的にカーペットを敷いていただければと思います。高齢の方が増えていますので石畳は、万が一の場合を考えると怖いものがあります。お世話になりありがとうございます。
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>利用者から寄せられた意見等に対しては、直接本人に回答するようにしている。窓口対応で利用者と職員が顔の見える関係を築くことが重要と考えているため、アンケート等に記入されないようなご意見や要望なども、コミュニケーションの中から把握し、「ご意見受付シート」を活用して市民会館全体で共有するようにしている。</p> <p>(主な意見と対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大ホール利用時に場外整理する際、もう少しテーブルパーテーションがあると来場者に並んでいただくのに便利です。 →大ホールの催事においては、開場前に多くの来場者が並び、スムーズに並んでいただくために従来からテーブルパーテーションを活用していたが、数が不足する場合もあり、利用者の利便性向上のためテーブルパーテーションを購入した。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制	・岐阜市の文化芸術振興の拠点施設として、住民の平等利用の確保をはじめ、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	文化芸術事業を行っていく上での方針と主な事業計画	・市民の文化芸術への参加・参画の促進、文化芸術の普及・啓発、文化芸術を担う人材の育成、優れた文化芸術の鑑賞機会の提供に積極的に取り組んでいるか	S	S	S
		市民協働を取り組んでいく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、市民との協働に積極的に取り組んでいるか	S	S	S
		貸館業務・管理業務・舞台業務を行っている上での方針と主な事業計画	・岐阜市の文化芸術振興の拠点施設として、文化芸術に関する相談、助言など付加価値のある貸館業務に取り組むとともに、安全な管理業務、舞台業務の運営につとめているか	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無	・業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策(利用者に対するサービスの向上)など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・新規利用者の獲得、リピーター確保による利用促進を図っているか	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制	・施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	A	A	A
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	管理経費縮減の具体的方策	・管理経費は効率的かつ適切に使用されているか ・省エネ管理マニュアルなどをもとに、光熱水費削減に努めているか ・収支予算と実績とは大きく乖離していないか	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(効率的な管理運営を図るための体制など)	・職員の人材育成に努め、効果的かつ適切な運営体制であるか ・文化センター及び市民会館を合わせた管理運営を効果的に行っているか	A	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	スタッフの管理、監督体制など	・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか ・より良いサービス、活動を提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができているか	A	A	A
		スタッフの人材育成の方策	・業務に必要な研修を実施し、資質の向上に努めているか	A	A	A
		リスクへの対応方策・能力(利用者の安全確保策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制が整っており、実際発生した際には対応ができたか ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか	S	S	S
		施設管理業務を行っていく上での方針と具体策	・施設管理業務を行う上での方針に沿った修繕を行っているか ・各種機械設備の保守点検、危機管理体制の整備、あるいは安全に十分に留意した管理運営を行っているか	A	A	A
		区分評価				S
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の文化団体等の育成	・地元のアーティストを活用するなど、文化団体等の育成に努めているか	S	S	S
		その他地元への貢献に関すること	・利用者以外の市民の問い合わせ等に対応しているか。また、地域の文化芸術を通じた地域振興に取り組んでいるか ・まちのにぎわいへの地域貢献しているか	A	A	A
		区分評価				S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組み
に対する評価

1. 貸館業務

市民会館大ホールについては、昨年度下半期と比べて利用日数が19日減、利用額が約275万円減であった。今年度は1月28日から3月15日にかけて手動式吊り物昇降装置及び制御装置改修工事等が実施されたため、大ホールの利用ができなかったことが減少の大きな要因である。毎年1月下旬から3月中旬まで利用のリピーターについては工事期間を外して利用された団体もあったが、興行系の催事や調整が付き利用できなかった団体もあった。そのような団体については、来年度も同時期に工事が予定されているため、早めに工事による利用制限を伝え調整を行った。展示ギャラリーについては、岐阜県美術館の工事休館の影響で、代替施設としての利用が増加したことに伴い増収となった。各室では、多目的ルームBが大幅に増収となり、会議室80の減収が目立った。多目的ルームBについては、定期利用の生け花教室の利用が増加したことに加えて、展示ギャラリーの付随施設としての利用が増えたことにより増収となった。会議室80の減収については、工事休館していた商工会議所が再オープンしたため、昨年度代替施設として会議室80を利用の団体が今年度は利用されなかったことが要因である。その他の各室についても減少傾向であるが、昨年度の岐阜市美術展覧会での利用が今年度なかったことや、定期的に加算利用の面接で利用されていた団体がスタッフ募集を停止したため利用がなくなったことが影響している。

3月18日(月)・19日(火)に開催した利用相談会では、生命保険会社、岐阜市内の高校、ダンススクール、着付教室や幼児教室などを中心に営業を実施した結果、10団体14名が来館された。今後も市民会館の大ホール・各室利用の傾向分析を踏まえ、利用に繋がる地道な営業を継続したい。

2. 施設管理

耐震補強工事は完了したものの、施設は築50年以上になっており、常日頃からチェックとメンテナンスが欠かせない状況である。利用者の利便性を高め、気持ちよく使っていただけるよう、下記のような対応を実施した。

- ① 大ホール椅子のストッパーゴムが劣化していたので、120席交換した。
- ② 大ホールの天井の一部が破損していたので、安全のため修繕をした。
- ③ 舞台照明用のUPS(無停電電源装置)が設置より10年経過し、機能低下の恐れがあるため取替えを実施した。
- ④ 練習スタジオ及び大ホール奈落通路の照明に不具合が生じたため、安定器の取替えを実施し、必要な箇所はLED照明器具に取替えを実施した。
- ⑤ 貸出用車椅子のタイヤに劣化が確認できたため、タイヤの交換を実施した。
- ⑥ 東棟の2階の多目的トイレにベビーシートを設置した。
- ⑦ 施設の安全管理に必要な改修工事については、優先順位を決定してすぐに岐阜市に提案するなど、岐阜市と綿密な連携をとり、施設運営を行っている。
- ⑧ 省エネマニュアルに基づき夏場の冷暖房の節減に努めた。また、電力量のピークを管理するデマンド計を導入しており、電気使用量の適正な管理で、電気料金の節約に努めた。

3. 市民の劇場・市民ふれあい事業による地域貢献

①「楽市JAZZ楽団」事業、及び同楽団による「地域貢献」事業では、地域の小学校に赴いて演奏を実施したほか、ジャズフェスティバルのプレ企画として柳ヶ瀬ストリートライブ、クリスマス・ジャズ講座等を実施することで、児童や普段生のジャズ・ポップス演奏に触れることの少ない市民に貴重な機会を提供した。また、岐阜市民会館で行われた「ザ・グレン・ミラーオーケストラ」の公演にオープニングアクトとして出演し、国際的アーティストの岐阜でのツアーコンサートを活用して地元演奏者に刺激を与えることができた。第11回ぎふジャズフェスティバルにおいては1000名に近い集客があり、地域の活性化に貢献することができた。

②「子ども伝統文化体験教室」では市内小学校へ能楽出前講座を実施し、約50名の児童に普段触れる機会の少ない伝統文化を体験する機会を提供した。

③「第40回ぎふアジア映画祭」では、アジア各国の多彩な映画の上映に加え、第40回記念企画として展示企画を実施したほか、文化講座や世界的に高い評価を受ける黒沢清監督の対談、韓国伝統音楽鑑賞等を実施し、市民に対して上映作品に関連する文化紹介の場を提供できた。また、映画祭の開催期間中にのべ2,000名を超える来場があり、岐阜駅から柳ヶ瀬にかけて中心市街地の活性化に貢献することができた。

④「市民スタッフ事業」では、落語をテーマとした「しゃべれどもしゃべれども」の映画上映とともに、岐阜県出身の落語家、昔昔亭A太郎さんの独演会を実施することで、400名を超える来場者があった。アンケート結果からも90%以上の満足度を得ることができ、地域文化の活性化に貢献することができた。

⑤市民プロデュース公演応援プロジェクトでは、第25回の審査会を実施し、ホール系会場1団体、小規模会場1団体の計2団体の採択となった。

⑥「ぎふ演劇ワークショップ」では、2月には一般の部が開催され、名古屋で活躍する劇作家から指導が行われた。また、3月に行われた中学生の部では、地元で活躍する劇団員から演劇の基礎を学ぶとともに、県内5つの中学校による発表会が行われ、夏の大会に向けた全体的なレベルアップに繋がった。

⑦「岐阜市中学校美術作品展」では、各校で特色のある作品の展示が行われた。また、地域の文化である大風や水うちわの展示が行われるなど、子どもたちの作品を披露するだけでなく、地域文化の紹介も可能な場を提供することができた。

⑧「戯曲セミナー&リーディング発表会」では、受講生の作品の中から優秀作品を選出し、優秀短編発表会としてリーディング形式で発表会を開催した。当日は140名の来場があり、受講者、来場者ともに好評を得ることができ、岐阜の演劇文化の発展に貢献することができた。

⑨「ザ・グレン・ミラーオーケストラ」ではチケットが完売し、多くの市民にJAZZに親しむ機会を提供することができた。

⑩「市民スタッフ育成事業」では、外部講師を招き「劇場フロントスタッフ研修」を実施することで、表方業務について理解を深めることができた。また、文化ボランティアの先進事例を学ぶため、不二羽島文化センターへの出張研修を実施した。

<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>1. 取組み状況 平成30年度上半期には施設の老朽化が気にならないくらい対応でカバーしていると評価いただいた。市民会館には高齢者や体の不自由な方も多数ご来館いただくため、施設のご不便をおかけするような場合には職員が付き添って案内するなど安心して気持ちよくご利用いただけるように丁寧に対応している。また、市民会館は4つの棟があるが、利用する施設により入口も異なるため、利用される方にわかり易いようにサイン表示の見直しを実施した。専門家にアドバイスを受けてわかり易いデザインを採用したことで初めてご利用される方にも親切なサイン表示に改善した。</p> <p>2. 貸館業務・施設管理 これまでも評価いただいたように、年2回実施する利用者アンケートではいずれの項目でも「非常に良い」「良い」の合計が90%を超える回答をいただいているが、アンケート満足度の高さに甘んじることなく、常に利用者からのご意見を取り入れていきたい。また、施設の修繕や安全管理に関しては、事故等なく施設運営を行っている。地震や火災などを想定した総合防災訓練を年2回実施しているが、休日や夜間帯の少数勤務体制を想定し、職員を2つのグループに分け、避難誘導する職員と来場者役に分かれて行うことで、より実践的な訓練を実施した。1月に行った訓練では、火災の火元を事前に知らせず、職員自ら火元を特定しそれに応じた対応ができるよう臨場感ある訓練を行った。このように有事の際にきちんと対応できる訓練を実施するなどし、安心してご利用いただけるよう体制を整えている。</p> <p>3. 市民の劇場・市民ふれあい事業 上半期には、「子ども伝統文化体験教室・発表会」「松竹大歌舞伎」において、小中学生に伝統文化を経験、鑑賞する機会を提供し、興味を持ってもらうことができた点をご評価いただいた。下半期に実施した事業についても、「能楽出前講座」で伝統文化に触れる機会を提供するとともに、「楽市JAZZ楽団地域貢献事業」において、市内小学校を対象とした出前講座、コンサートを実施することで、子どもたちが多様な文化芸術を体験し、親しむ機会を提供した。また、「ザ・グレン・ミラーオーケストラ」など鑑賞型の公演においては学チケ料金を設定することで、若者が様々な文化に触れ親しむ機会を提供している。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>1. 貸館業務 10月からの消費税に伴う施設・附属設備料金改正に向け、パンフレットの刷新、利用団体への経過措置の周知などを行っていく。定期利用団体を確保していくとともに、上半期において21団体あった新規利用者に継続利用してもらえるよう、積極的な営業活動をしていく。また、上半期の定期利用団体の特徴を分析すると、一般企業、任意団体、子供向けサークルなどでの利用が多かったため、次回利用相談会では企業、団体や同ジャンルへの営業を強化することで更なる定期利用団体を増やしていきたい。</p> <p>2. 施設管理 ①経年劣化に伴う故障、異常を念頭に置き、こまめな日常点検を実施し、速やかな修繕対応、岐阜市への工事要望を実施する。 ②気候の急な変動など冷暖房需要が高まった場合や燃料費の高騰などにも対応できるように、省エネマニュアルに沿って、光熱水費の節約に努めるよう取り組んでいく。 ③2020年4月からの敷地内全面禁煙化に向け、利用者へ周知を図っていく。 ④来年度へ向け、大ホールの空調工事等の改修工事計画を更新し、岐阜市へ要望していく。</p> <p>3. 市民の劇場・市民ふれあい事業 ①「楽市JAZZ楽団」では、4月に団員の追加募集とオーディションを実施する。学校への出前コンサートの企画・実施や、第12回ぎふジャズフェスティバルに向けて準備を進めていく。 ②「Concert for KIDS 0才からの鼓童」は、6月の公演実施に向けて準備とPR活動を進めていく。 ③「初心者のためのダンスワークショップ」では、バレエのワークショップ参加者を募集する。7月のワークショップの実施に向けて取り組む。 ④「松竹大歌舞伎」は5月のチケット発売に向けてPR活動を充実し、7月の公演実施に向けて準備を進めていく。 ⑤「子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓)」の参加者を募集する。8月に練習を実施し、発表会に向けて取り組む。 ⑥「第41回ぎふアジア映画祭」では、10月からの開催に向けて、市民スタッフとともに会議を実施し、選定作品・企画を練っていく。 ⑦「市民スタッフ事業」では、月1回の企画会議を実施し、市民スタッフと一緒に企画を練り上げていく。 ⑧「市民プロデュース公演応援プロジェクト(公募)」では、5月から企画を募集し、7月に審査会を実施する。また、5月と9月に実施する採択事業のPR協力、当日実施に向けての支援をしていく。 ⑨「ぎふ演劇ワークショップ」では、5月に高校生の部を開催する。 ⑩「岐阜市中学校美術作品展」では、4月から1か月単位で市内中学校2校による共同展示を開催する。 ⑪「華麗なるクラシックバレエ・ハイライト～ロシア4大バレエ劇場の競演～」については、7月の公演実施に向けて準備とPR活動を進めていく。 ⑫「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業では、中高生を対象とする「夏休み体験教室」を8月に開催する。 ⑬「戯曲セミナー」の講座を6月から月1、2回ペースで実施する。 ⑭「ブラバン・ディズニー！コンサート」については、6月の公演に向けて準備とPR活動を進めていく。 ⑮「市民スタッフ育成事業」では、市民スタッフの活動に役立つ、外部研修や出張研修の実施準備を進めていく。</p>

●所管課の意見

適切な人員配置及び業務委託により、安全に十分留意した管理運営が行われている。
市民会館は開館して51年が経過し、施設・設備機器の経年劣化が進んでいるが、日常の点検業務や計画的な修繕によって施設の維持管理、安全性の確保に努めている。また、異常を早期発見することで、修繕で終わることができ、円滑な施設運営ができていくことは評価できる。
吊り物工事や空調機の工事で大ホールが一定期間(約1ヶ月半)使用できなかったため、昨年に比べ稼働率等は減少しているが、全体的にリピーターの利用が堅調であった。他の施設と比べ、古い建物であるが健闘していることは評価できる。
指定事業においては、「ぎふアジア映画祭」でアジア各国の多彩な映画を上映し、第40回を記念して特別展示を実施したほか、文化講座や映画監督の対談等を行ったことで、2,000名を超える多くの方にご来場いただいた事は高く評価できる。また、「市民スタッフ事業」では、落語をテーマとした映画上映と併せて岐阜出身の落語家を招き独演会を実施した。映画と落語を交えた新たな取り組みで、400名を超える来場をいただいたことも評価できる。今後も文化の拠点として、新たな取り組みを交え岐阜市の文化の一翼を担うことを期待する。

●指定管理者評価委員会の意見

アンケート配布枚数を増やすなどとして、アンケートの回収数増に努めていただきたい。
市庁舎も移転することから、市民会館とメディアコスモスの使い分けといった活用方法も活発になると良い。
施設の老朽化は今後の大きな課題であるため、しっかりと対策を考えていただきたい。